

25th ANNIVERSARY
since 1988 CHIBA URBAN MONORAIL

昭和63年(1988年)、スポーツセンター・千城台間に開業した千葉モノレールも、今年3月28日に開業25周年を迎えます。四半世紀という節目の年を迎え、千葉モノレールでは平成26年3月末までを開業25周年イヤーとして、様々な活動を通じて日頃ご利用いただいているお客様、地域の皆様へ感謝の気持ちを伝えてまいります。

昭和63年

スポーツセンター駅～千城台駅開業



平成3年

千葉駅～スポーツセンター駅延伸開業



平成7年

千葉みなと駅～千葉延伸開業



平成11年

千葉駅～県庁前延伸開業



「ありがとうをつないで 次の未来へ」

千葉都市モノレール2号線の天台駅は、国道126号沿いにあり、駅の東は稲毛区天台、西は轟町の住宅地が広がる。モノレール下の国道は、平成13年に京葉道路沿いの千葉バイパスができるまでは国道16号で、モノレールができる前は、片側一車線の細い道であった。

駅の周囲は、戦前は陸軍の町として発展したところで、その痕跡が数多く見られる。歩くと、左手に崩れかけた赤レンガの塀が残っている。これはかつての学校通用門の跡である。

大正2年、大正天皇が、歩兵学校の学生の教練を見学し、それを記念してこのあたりを「天覧台」と呼んだ。これが天台という町名の由来とされる。天台4丁目の住宅街の一角に、「天覧台」の記念碑がひっそりと立っている。



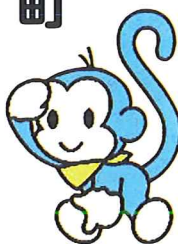
駅は国道126号(旧16号)沿いにある

買い物などで千葉に行くとき、よく利用しています。いろいろなデザイン車両があるので、子どもも乗るのを楽しみにしています。



※川光倉庫は一般公開されておりません。

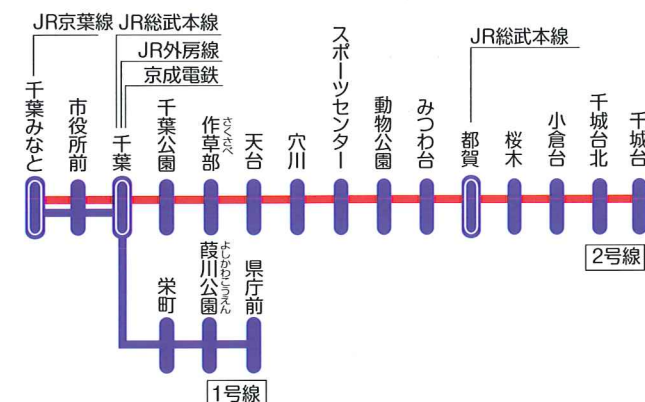
駅のある風景 第16回 天台駅



は、気球格納庫を転用した「川光倉庫」がある。「気球隊」は旧日本陸軍の工兵隊のひとつで、上空からの偵察や調査観測を任務としていた。昭和初期に建造されたこの旧格納庫は、カマボコ型屋

根をしたドーム状で、天井はかなり高い位置にある。激しかった千葉空襲から奇跡的に逃れ、戦前の千葉の面影を伝える貴重な遺構である。

モノレール路線図



お得な乗車券について

ホリデーフリーきっぷ

- 発売金額 大人600円 小人300円
- 発売時間 終日販売(駅窓口は6:00~21:00)
- 有効期間 発売当日の1日限り有効
- ご利用日 土・日曜日、祝日、年末年始及びゴールデンウィークの期間。それぞれ1日全線乗り放題。

お昼のお出かけフリーきっぷ

- 発売金額 大人600円 小人300円
- 発売時間 10:00~18:00
- 有効期間 平日の朝10時から18時乗車まで有効

2-DAYフリーきっぷ

- 発売金額 大人1,000円 小人500円
- 発売時間 終日販売(駅窓口は6:00~21:00)
- 有効期間 発売当日と翌日の2日間限り有効
- ご利用日 土・日曜日、祝日、年末年始及びゴールデンウィークの期間。それぞれ2日間連続で全線乗り放題。

千葉都市モノレール株式会社

〒263-0012 千葉市稲毛区萩台町199-1

☎043-287-8211(代)

<http://www.chiba-monorail.co.jp>

千葉都市モノレール

検索

発行: 千葉都市モノレール株式会社 総務部 企画課

編集: 株式会社 地域新聞社

掲載情報は2013年3月6日現在のものです

Mono Rail

Vol.15 ちばモノレール

春号

空からはじまる
とっておきの街歩き♪

空の散歩道

